

都立公園等指定管理者評価委員会（第6回）

次 第

令和7年8月5日（火曜日）
13時15分から16時45分まで
都庁第二本庁舎5階 5B会議室

1 開会

2 議事

(1) 説明（事務局）

(2) 事業者の財務状況について

(3) 各施設の評価検討及び決定

- ① 都市部の公園・東部グループ【アメニス東部地区グループ】
- ② 都市部の公園・南部グループ【公益財団法人東京都公園協会】
- ③ 都市部の公園・北部グループ【公益財団法人東京都公園協会】
- ④ 武蔵野の公園グループ【武蔵野の公園パートナーズ】
- ⑤ 多摩部の公園グループ【多摩部の公園パートナーズ】
- ⑥ 狭山丘陵グループ【狭山丘陵パートナーズ】
- ⑦ 多摩丘陵グループ【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑧ 大神山公園【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑨ 防災公園グループ【公益財団法人東京都公園協会】

休憩（10分）

- ⑩ 文化財庭園グループ【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑪ 神代植物公園【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑫ 夢の島公園・夢の島熱帯植物館【アメニス夢の島グループ】
- ⑬ 潮風公園・台場公園【東京臨海副都心グループ】
- ⑭ 横網町公園【公益財団法人東京都慰霊協会】
- ⑮ 東京臨海広域防災公園【公益財団法人東京都公園協会】
- ⑯ 明治公園【Tokyo Legacy Parks 株式会社】
- ⑰ 代々木公園【代々木公園STAGES】
- ⑱ 日比谷公園大音楽堂【東京南部パークスグループ】
- ⑲ 都立動物園【公益財団法人東京動物園協会】
- ⑳ 東京都霊園【公益財団法人東京都公園協会】
- ㉑ 瑞江葬儀所【公益財団法人東京都公園協会】

3 まとめ

4 事務局連絡事項

5 閉会

令和 6 年度 指定管理者管理運営状況評価 一覧表

No.	グループ名【指定管理者名】					R 6 年度			過年度総合評価												指定期間
	選定	R6 一次評価点数区分			施設名	点数	一次	二次	R5	R4	R3	R2	31	30	29	28	27	26	25		
1	都市部の公園・東部グループ【 アメニス東部地区グループ 】					63	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	R5.4.1 ～R10.3.31	
	公募	S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 44	1 猿江恩賜公園	57	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	A	A	A		
					3 尾久の原公園	63	A	A	S	A	A	B	B	A	B	B	A	A	A		
					4 東綾瀬公園	60	B	B	B	B	B	A	B	B	A	S	S	S			
					5 中川公園	59	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A			
					6 大島小松川公園	65	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A		
					7 宇喜田公園	63	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A			
					2 都市部の公園・南部グループ【 (公財)東京都公園協会 】	69	S	S	S	S	S	S	S	S	A	A	S	S	S		R5.4.1 ～R10.3.31
公募	S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 44	8 日比谷公園	62	A	A	A	B	B	A	A	B	B	B	A	A	A			
				10 青山公園	61	B	B	B	B	A	B	B	B	B	A	A	A				
				11 林試の森公園	63	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A			
				12 蘆花恒春園	63	A	A	B	B	B	B	B	B	B	A	S	A				
				13 祖師谷公園	62	A	A	A	B	A	B	B	B	B	A	A	A				
				3 都市部の公園・北部グループ【 (公財)東京都公園協会 】	68	S	S	A	A	A	B	B	B	B	B	S	S	S	R5.4.1 ～R10.3.31		
公募	S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 44	14 戸山公園	64	A	A	A	B	A	B	B	B	B	A	S	S				
				15 善福寺公園	65	A	A	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-				
				16 高井戸公園	64	A	A	S	A	A	S	A	B	B	B	A	A	A			
				17 浮間公園	64	A	A	A	B	A	B	B	B	B	A	A	A				
				18 赤塚公園	64	A	A	A	B	A	B	B	B	B	A	A	A				
				19 石神井公園	65	A	A	A	B	A	B	B	B	B	S	S	S				
				20 大泉中央公園	59	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A				
				21 練馬城址公園	65	A	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
4	武蔵野の公園グループ【 武蔵野の公園パートナーズ 】					62	A	A	B	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A	R5.4.1 ～R10.3.31	
	公募	S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 44	22 武蔵野公園	61	B	B	A	A	B	B	A	A	A	A	S	A	A		
					23 浅間山公園	64	A	A	A	S	S	S	S	A	A	B	A	A	S		
					24 野川公園	59	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A			
					25 玉川上水緑道	63	A	A	S	S	S	A	S	S	A	A	S	S	S		
					26 武蔵国分寺公園	53	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A			
					27 東伏見公園	56	B	B	B	B	B	A	B	B	B	A	A	A			
					28 六仙公園	56	B	B	B	B	B	A	B	B	B	A	A	A			
5	多摩部の公園グループ【 多摩部の公園パートナーズ 】					63	A	A	A	A	A	A	S	S	A	B	A	A	A	R5.4.1 ～R10.3.31	
	公募	S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 44	29 陵南公園	62	A	A	A	A	S	A	A	A	A	B	A	A	S		
					30 小宮公園	58	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A			
					31 滝山公園	56	B	B	B	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A		
					32 大戸緑地	56	B	B	B	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A		
6	狭山丘陵グループ【 狭山丘陵パートナーズ 】					60	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	R5.4.1 ～R10.3.31		
	公募	S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 44	33 狭山・境緑道	67	S	S	A	S	S	A	A	B	B	A	S	A		S	
					34 狭山公園	58	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	A	A		A	
					35 八国山緑地	54	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A			
					36 東大和公園	69	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S			
					37 野山北・六道山公園	52	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-	-		-	
					38 中藤公園	52	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-	-		-	
7	多摩丘陵グループ【 (公財)東京都公園協会 】					56	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	R5.4.1 ～R10.3.31	
	公募	S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 44	39 長沼公園	54	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A		
					40 平山城址公園	61	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	S		
					41 小山田緑地	58	B	B	A	B	A	S	A	A	A	S	S	S	S		
					42 小山内裏公園	63	A	A	A	S	A	A	A	A	B	A	A	A	A		
					43 桜ヶ丘公園	63	A	A	A	S	A	A	A	A	B	A	A	A	A		
8	大神山公園【 (公財)東京都公園協会 】					64	S	S	A	A	A	B	B	A	B	B	A	A	A	R5.4.1 ～R10.3.31	
	公募	S ≧ 64	A ≧ 60	B ≧ 43	44 大神山公園	64	S	S	A	A	A	B	B	A	B	B	A	A	A		
9	青山葬儀所【 R3.4～休止中】																			H28.4.1 ～ R3.3.31	
	公募					青山葬儀所				-	-	-	B	B	A	A	S	A	A		A

	年度											
	R6	R5	R4	R3	R2	H31	H30	H29	H28	H27	H26	H25
S	11	13	12	11	7	9	6	4	4	26	29	26
A (A+)	48	39	39	45	31	23	15	14	17	67	64	67
B (A)	38	45	43	38	57	61	73	76	73			
C (B)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

※H30年度からH28年度までの評価は、A+をAに、AをBに、BをCに表記を改めています。H27年度以前の評価はS,A,Bの三段階です。

No.	グループ名【指定管理者名】					R6年度																	指定期間
	選定	R6 一次評価点数区分			施設名	点数	一次	二次	R5	R4	R3	R2	31	30	29	28	27	26	25				
10	防災公園グループ【（公財）東京都公園協会】																						
	特命	S ≧ 71	A ≧ 67	B ≧ 47	45 東白鬚公園	67	A	A	B	B	A	B	B	B	B	A	A	A	H28.4.1 ～ R8.3.31				
					46 木場公園	68	A	A	B	B	A	B	B	B	B	S	S	A					
					47 砧公園	69	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	S	A					
					48 駒沢オリンピック公園	65	B	B	A	A	A	B	B	B	B	A	S	A					
					49 代々木公園	72	S	S	S	S	S	A	A	B	B	B	S	S		S			
					50 善福寺川緑地	65	B	B	A	B	A	B	B	B	B	A	A	A					
					51 和田堀公園	68	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A					
					52 汐入公園	69	A	A	A	B	A	A	B	B	B	B	A	A		A			
					53 城北中央公園	69	A	A	B	B	B	A	A	B	B	B	A	A		A			
					54 光が丘公園	68	A	A	B	B	B	A	B	B	B	B	A	A		A			
					55 舎人公園	71	S	S	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A		S			
					56 水元公園	68	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	S	S					
					57 篠崎公園	69	A	A	B	B	A	B	A	B	B	A	A	A					
					58 葛西臨海公園	74	S	S	S	S	S	S	S	A	A	A	A	A					
					59 武蔵野中央公園	63	B	B	B	B	A	B	B	B	B	A	A	S					
					60 府中の森公園	67	A	A	A	A	A	B	A	B	B	B	A	A		A			
11	文化財庭園グループ【（公財）東京都公園協会】																						
	特命	S ≧ 70	A ≧ 65	B ≧ 46	66 浜離宮恩賜庭園	73	S	S	S	S	A	A	S	S	S	A	S	S	S	H28.4.1 ～ R8.3.31			
					67 旧芝離宮恩賜庭園	74	S	S	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A					
					68 小石川後楽園	71	S	S	S	S	A	A	A	B	B	B	S	S	S				
					69 六義園	68	A	A	A	A	A	A	B	A	S	S	S	S	S				
					70 旧岩崎邸庭園	66	A	A	S	A	B	B	B	B	A	A	S	S	A				
					71 向島百花園	67	A	A	B	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A				
72 清澄庭園					67	A	A	A	B	B	B	A	A	B	B	A	A	A					
12	神代植物公園【（公財）東京都公園協会】																						
	特命	S ≧ 76	A ≧ 72	B ≧ 51	75 神代植物公園	75	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	H28.4.1 ～ R8.3.31			
13	夢の島公園・夢の島熱帯植物館【アメニス夢の島グループ】																						
	特命	S ≧ 64	A ≧ 60	B ≧ 43	76 夢の島公園	60	A	A	B	B	A	A	B	B	B	B	A	A	A	R5.4.1 ～R10.3.31			
		S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 44	77 夢の島熱帯植物館	64	A	A	S	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A				
14	潮風公園・台場公園【東京臨海副都心グループ】																						
	特命	S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 43	78 潮風公園	55	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	H28.4.1 ～ R8.3.31			
15	横網町公園【（公財）東京都慰霊協会】																						
	特命	S ≧ 66	A ≧ 62	B ≧ 44	80 横網町公園	62	A	A	S	A	A	A	B	B	B	B	S	A	A	R3.4.1 ～ R8.3.31			
16	東京臨海広域防災公園【西武造園(株)】																						
	特命				東京臨海広域防災公園				B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	R2.2.1 ～ R6.1.31			
	東京臨海広域防災公園【(公財)東京都公園協会】																						
17	明治公園【Tokyo Legacy Parks(株)】																						
	特命	S ≧ 68	A ≧ 64	B ≧ 45	81 東京臨海広域防災公園	59	B	B	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	R6.2.1 ～ R10.1.31			
	明治公園					64	A	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	R5.10.31 ～R15.2.28				
18	代々木公園（渋谷区神南一丁目北側）【代々木公園STAGES】																						
	特命	S ≧ 68	A ≧ 64	B ≧ 45	83 代々木公園（渋谷区神南一丁目北側）	51	B	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	R7.2.1～R15.12.31			
19	日比谷公園大音楽堂【東京南部パークスグループ】																						
	特命	S ≧ 60	A ≧ 57	B ≧ 40	84 日比谷公園大音楽堂	59	A	A	A	S	S	A	S	B	B	B	A	A	A	R5.4.1 ～R6.9.30、 R6.11.1～R7.9.30			
20	都立動物園【（公財）東京動物園協会】																						
	特命	S ≧ 76	A ≧ 72	B ≧ 51	85 恩賜上野動物園	75	A	A	A	A	A	B	B	B	B	S	S	A	H28.4.1 ～ R8.3.31				
					86 多摩動物公園	67	B	B	B	B	B	C	B	B	B	A	S	A					
					87 葛西臨海水族園	74	A	A	S	A	A	B	A	A	B	A	S	S		S	R5.4.1 ～R8.3.31		
88 井の頭自然文化園	68	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	S	A	A	H28.4.1 ～ R8.3.31								
21	東京都霊園【（公財）東京都公園協会】																						
	特命	S ≧ 55	A ≧ 52	B ≧ 37	89 青山霊園	49	B	B	A	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	H28.4.1～R8.3.31			
					90 谷中霊園	50	B	B	A	A	B	B	B	A	A	A	A	S					
					91 雑司ヶ谷霊園	52	A	A	A	B	A	B	B	B	B	A	S	A					
					92 染井霊園	50	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	A	A	A				
					93 八柱霊園	54	A	A	B	B	B	A	B	B	B	A	S	S	S				
					94 八王子霊園	50	B	B	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A				
					95 多磨霊園	46	B	B	B	A	A	B	A	B	B	B	S	S	A				
96 小平霊園	49	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	S	A	S									
22	瑞江葬儀所【（公財）東京都公園協会】																						
	特命	S ≧ 51	A ≧ 48	B ≧ 34	97 瑞江葬儀所	50	A	A	A	A	S	S	B	B	A	A	A	S	A	R6.4.1～R7.4.30			

グループ名	都市部の公園・東部グループ
指定管理者名	アメニス東部地区グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
1	猿江恩賜公園	A	・グループ全体としては、猿江恩賜公園の多様な生き物が生息する環境に向けての取組や宇喜田公園のボランティアによるハーブを活用した景観創出と地域交流などそれぞれの公園の特色を生かした取組を行っている。また、自然に触れるイベントや防災プログラムを実施することで、地域住民が公園を訪れる機会を多く創出し、公園の魅力向上につなげた。加えてパークミーティング等の働きかけにより、下町的なコミュニティの力をうまく引き出して、創意工夫の豊かな協働企画を育てていることが評価できる。	A
2	亀戸中央公園	B	・猿江恩賜公園では、近隣の中学生を受け入れて粗朶柵の設置、外来種の駆除を実施したり、都立科学技術高校と協力して南園で公園の生き物に関するパネル展を実施したり、東京農工大学による都市化に対するヒキガエルの生存戦略の調査協力を行ったりするなど、学校との連携強化と多様な生き物が生息する環境に向けた取り組みを行った。4月上旬にはチューリップの杜で花と音楽を楽しんでもらうチューリップフェスタを実施し、昨年の倍以上となる1,800人が参加。花に囲まれながら生の演奏が聞ける機会を提供し、近隣住民だけでなく区外からの来園者も楽しませた点を評価。	B
3	尾久の原公園	A	・亀戸中央公園では江東区の花であり、公園の見どころの一つである「サザンカ」のPRのため、テレビ番組において専門性の高い職員によるサザンカの紹介を行い、公園としての認知度の向上に努めた。近隣小学校への出張授業や近隣住民との合同避難訓練を実施するなど地域価値の向上につながる取組を新たに実施した。	A
4	東綾瀬公園	B	・尾久の原公園では「地域をつなぐ出店イベントpark:motto」を通年で実施したほか、これまで「緑の相談」に留まっていたガーデニングデスクの取組を拡大し、近隣の学校でのパイオネット制作指導を行うなど公園を取り巻くコミュニティの輪を広げた。またサッカー、テニスなどの壁打ち行為が行われていたトイレの壁面に、市民との協働制作による壁画（ウォールアート）を設置することで、行為が取りづらい環境を創出し施設の適正な利用を推進した点を評価。	B
5	中川公園	B	・東綾瀬公園では秋のオータムフェスタの体験プログラムとして「どんぐりプール」「どんぐりクラフト」「シャボン玉づくり」などを実施し、計画の1.5倍の300人が集まり施設の魅力向上につなげた。綾瀬警察署及び公園隣接プール施設と連携し水難訓練を三者合同で実施し、災害発生時における想定浸水深4.6mへの危機感を共有し、防災への意識を高めた。	B
6	大島小松川公園	A	・中川公園ではどんぐりや松ぼっくりなど公園で手に入る自然由来の素材を使用した工作イベントを実施し、参加者から喜ばれ、公園をより楽しむ機会を提供した。要望の多かったトイレの清潔さや利用しやすさについて、建築物清掃管理評価資格者による公園全体の「清掃品質評価」や直営職員による定期的なトイレ清掃等トイレの汚れや破損等指摘事項については是正することを行い、利用者が気持ちよく利用できる環境を保った。	B
7	宇喜田公園	A	・大島小松川公園ではスケートボード愛好会との連携などを行い、スケートボード利用等のルールやマナーの周知徹底を図ったことにより、苦情・要望や口頭注意、器物破損の件数の大幅な減少に繋がった。江戸川消防署、江戸川区、小松川警察署など関係機関等と連携し、9月に「防災・救急フェア」、11月に「火災予防フェア」などの大規模イベントを実施し、親子連れを中心に多くの人（各1,200人～1,500人、江戸川消防署調べ）が来園したこと等から、防災へ取組を評価。	A
			・宇喜田公園では約7年に渡る公園内花壇の維持管理やラベンダーなどのハーブ育成、収穫したラベンダーを散策者や地域の施設等へ配布するなど、「地域力」の醸成に寄与したことが評価され、江戸川区「第13回景観まちづくり賞」にハーブボランティアが選出された。また、長年アンケート要望で上位に挙げられていた「休憩施設の老朽化」の改善要望に応えるために、ベンチや野外卓の全面補修と部分補修含めて計25基をリニューアルし、利便性を向上させた点を評価。	A

グループ名	都市部の公園・南部グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
8	日比谷公園	S	・グループ全体として、樹木点検アプリの導入により、GPSによる位置情報の共有や樹木医によるリアルタイムの確認等、樹木点検の効率化を図った。また、ロケーションを活かしたイベントや公園の特性に応じた多彩なプログラムを展開し、各公園及び周辺地域の魅力向上に貢献した。文化的レガシーや環境を持つ公園の特性を生かし、市民が参加しともに楽しむ特色ある企画を創出している点も評価できる。	S
9	芝公園	A	・日比谷公園では、「HIBIYA PARK TERRACE」において、ベビーケアルームの試行設置や初開催の野外での映画上映、パラスポーツのボッチャ体験等、公園の新しいシーンづくりにより更なる魅力向上に貢献したほか、周辺企業と協働で管理するCSR花壇を増やすとともに、企業版プチボラを16団体受け入れるなど、園内美化の保持と公園への関係人口の増加を図った。また、大噴水の水を再利用した打ち水や耕作放棄地の竹の再利用、小笠原諸島海域における地上ゴミと海洋ゴミの関連の展示説明など、積極的にSDGsを意識したイベントを展開した。東京という都市の歴史を伝える公園として古きものを大事にしつつ、花壇づくりや斬新なイベントなどで新たな魅力も生み出している点等を高く評価。	A
10	青山公園	B	・芝公園では、公園の落葉で万華鏡を作る工作教室を東京タワーと連携して開催したり、みなと区民まつりにおいて、テニスコートのロストボールを再利用した工作教室を実施するなど、SDGsに貢献したほか、古墳・梅林等の歴史遺産や新紙幣肖像人物との関係を解説するガイドツアー、増上寺や図書館と連携したシリーズ講演会、公園アプリを活用した謎解きコンテンツによるセルフガイドなどを通じて、公園や地域の多彩な魅力を周知した点も評価。	B
11	林試の森公園	A	・青山公園では、パークミーティングメンバーも巻き込んだ南地区新規開園エリアの愛称決めや近隣支援学校との愛称看板製作等、地域連携強化に寄与したほか、直営でビオトープを作成し、観察会の内容を充実させるなど、各種団体と協力して、にぎわいの創出と地域の魅力向上に取り組んだ。	A
12	蘆花恒春園	A	・林試の森公園では、ジャブジャブ池開放時の入場者管理効率化やキッチンカー出店による利用者サービス向上のほか、リユースワークショップで参加者が作成した竹ランタンを夜間イベント「きら林」で活用する取組等を通して、公園の魅力を向上させた。ドッグヨガやモルック体験会を初開催し、スポーツによる公園の利用促進と都民の健康増進に寄与した点も評価。	A
13	祖師谷公園	A	・蘆花恒春園では、鉄道会社と連携し、家庭で余った食品を集め、地域の福祉施設や支援団体に寄付する「フードドライブ」を実施し、食品ロスの低減に寄与したほか、近隣住民や保育園の利用が多い特性を踏まえ、シャボン玉や工作教室等、コンテンツを工夫した「おもてなしイベント」を開催し、子供たちが安心して遊べる環境を提供するなど、地域の繋がりを強化した。加えて、園路の安全性確保や不陸・段差の解消、防犯カメラ設置等、安全性向上の取組を積極的に実施した点も評価。	A
			・祖師谷公園では、夏休み期間中、子供たちが描いた絵を親水テラスに展示するイベントを開催し、子どもの居場所づくりを行ったほか、スポーツプログラムにおいて、初めてプロギングを取り入れ、飛地のPRと高齢者の健康維持、公園利用促進に繋げた点を評価。	A

グループ名	都市部の公園・北部グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
14	戸山公園	S	・グループ全体の取組として、樹木点検アプリの導入により、GPSによる位置情報の共有や樹木医によるリアルタイムの確認等、樹木点検の効率化を図った。また、各公園において都民の要望やアイデアを引き出し、地域参加による創意工夫からユニークな企画を多数創出したこと、なかでも子どもや親子で楽しめる企画が増えた点は評価できる。 ・戸山公園では、近隣学校と協働で、トイレの外壁のリニューアルを実施し、来園者の快適性の向上を図ったほか、野外でフィルム映画を観る「夏の野外上映会」や、障害者と地域住民が交流できる「あおぞら音楽会」、演劇サークル等とのコラボによる「箱根山演劇祭」等、新たな公園利活用を推進した。また、開園70周年記念として実施した、園内のラベンダーを用いた「アロマキャンドル作り」や「戸山公園と近隣地域の歴史を振り返る写真展」等を通して、地域とのつながりを強化した点等を高く評価。	S
15	善福寺公園	A	・善福寺公園では、近隣小学校と連携した「小学生監修の公園ガイド」において、DXを活用した広報活動を行い、子ども目線で新たな公園の魅力を発信したほか、「日本野鳥の会」創設90周年を記念したイベント等を通じて、野鳥観察の聖地である善福寺公園と武蔵野の自然をアピールし、野鳥保護の普及啓発に寄与した点を評価。	A
16	高井戸公園	A	・高井戸公園では、追加開園記念イベントにおいて、近隣の学校や団体と連携したステージプログラムの実施やサステナブル花壇の推進等、公園利用者のニーズに応える魅力的なコンテンツを提供し、追加開園のPR及び公園の利用拡大に繋げた。また、来園者のアンケート結果を踏まえ、近隣小学校の児童・保護者や近隣大学等と連携し実施した「あおぞら運動会」等、積極的に地域交流を進め、新たな公園の魅力を発信した点や、区と連携し川沿いの法面を安全に管理した点も評価。	A
17	浮間公園	A	・浮間公園では、猛暑の夏に公園全体の利用者が減少することや、日中の運動が難しいという課題に対して、比較的気温が低くなる夕方～夜間にヨガと天体観測を楽しむ「お月見ヨガ」を初実施したほか、聴覚障害者協会や大学と連携し、聴覚障害者も一緒に楽しめる星空観望会等、インクルーシブなイベントを開催するなど、公園の新たな活用につながる取組により、他者との交流や社会参加の促進に貢献した。また、チューリップにかかわる地域主体の取組が、新たなイベントを生むなどして、地域の文化として定着してきている点を評価。	A
18	赤塚公園	A	・赤塚公園では、開園50周年記念事業の一環で、地域の学校を対象にオリジナルキャラクターを公募するなど、公園の魅力向上に努めたほか、ニリンソウをはじめとする多様な野草の保全活動やSC内に新たに設置した「生態インフォメーションコーナー」での季節ごとの展示等、ボランティアや高校生と生物多様性事業に取り組み、来園者に赤塚公園の豊かな自然を発信した点を評価。	A
19	石神井公園	A	・石神井公園では、新たに石神井図書館と連携して作成した、公園の自然がテーマのクイズを毎月出題する「しゃくじいたんけんぶっく」を通じて、公園と図書館を周遊して地域を楽しむ機会を来園者に提供したほか、石神井警察署と連携し、小学生及び中学生を対象とした防災学習会や防災施設運用訓練を実施することで、若い世代の防災意識の向上に寄与した点を評価。	A
20	大泉中央公園	B	・練馬城址公園では、「いきものクラブ」と協働して、バイオネスト、インセクトハウス等を作製し、資源循環化によるCO2削減や生物多様性の保全及び普及啓発を行った。また、「Happy 1st Anniversary」や「としま縁日」「青空リユース・カフェ」「観月会」等、多様なコミュニティと魅力的なイベントを多数実施したほか、遊具広場への遮熱塗料塗布による熱中症対策や園路の段差解消対策等、ニーズを踏まえた取組により、公園の新たな活用につなげ、魅力向上に寄与した点を評価。	B
	練馬城址公園	A		A

グループ名	武蔵野の公園グループ
指定管理者名	武蔵野の公園パートナーズ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
22	武蔵野公園	A	・グループ全体として、愛犬家のマナー向上を目的にした「犬のマナーアップキャンペーン」を開催したほか、職員向けに犬の基礎知識や愛犬家へのマナー指導方法に関する研修を行い、ペットに関する正しいルールやマナーの知識習得を促した点を評価。武蔵国分寺公園のように参加企画が広がっている公園もあるため、グループ全体としての企画の広がりを期待したい。 ・武蔵野公園では開園60周年記念の「アニバーサリープロジェクト」を実施し、地域事業者と協力しつつオリジナルスタンプの作成や60周年記念花壇の植付けなど行い公園の魅力を広く発信した。また「アスリートクリニック」として元プロ野球選手を講師に迎え小学生を対象に野球教室を開催し、子供たちへスポーツの楽しさと技術向上を経験させるとともに、地域のスポーツ振興に寄与した点を評価。	A
23	浅間山公園	B	・浅間山公園では産官学民様々な主体で構成された「浅間山を考える会」を年4回開催し、多様な意見をバランスよく受け止めて企画調整を行い、協働型の公園づくりを推進。また、地元市民団体「浅間山自然保護会」との情報交換・意見交換を月1回実施し、維持管理、保全、協働など様々なテーマについて意見を積み管理運営に反映しコミュニティとの連携を強化。営利目的での昆虫採集を行う団体への指導や観察した昆虫は元の場所へ逃がすこと、柵内への立ち入り禁止を呼びかける「昆虫採集マナーアップ」のポスターを掲示するなどの対策がマナー向上の効果を上げた。	B
24	野川公園	A	・野川公園では自然観察センターのリニューアルに際し、企画展「野川中流域の旧石器時代」を開催し、旧石器時代の資料などを展示し地域の地形・自然・歴史を紹介した。また夏休みには「いきものなぜなぜ質問箱」を開催するなど地域の期待やニーズをくみ取り、国分寺崖線全域の環境学習やネットワークの拠点へ発展させた点が評価できる。関係機関と連携して、国分寺崖線で江戸期の風景を再生する「ワサビ田再生プロジェクト」を開始し、三鷹市で栽培されていた希少品種「三鷹大沢ワサビ」を復活させ、地域の遺伝資源の保存に貢献した点を評価。	A
25	玉川上水緑道	B	・玉川上水緑道では「玉川上水緑道保全活動ガイドライン（杉並区エリア版）」に基づく外来種除去等の取組みにより、絶滅危惧種キンランが回復するなど地域参加型の取組みに成果が見られた。また武蔵野市エリア版のガイドラインが完成した。不法投棄等の迷惑行為に対しては、広域の管理範囲でありながら、日常巡回の徹底や担当者間の効率的な連絡により、迅速な対応を行った。	B
26	武蔵国分寺公園	A	・武蔵国分寺公園では都民の提案を実現する「あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト」として「うくフェス」、「てのわ森の中美術館2024」などの多数のイベントを開催し公園や地域の魅力向上に繋げた点を評価。花壇活動や外来植物の除去などの保全活動に加え、今年度は2基のエコスタックを新規に設置したことにより、絶滅危惧種の昆虫2種を初確認した点を評価。 ・東伏見公園では鉄道会社の沿線配布冊子やSNS媒体を活用することで、「電車が見えるベンチ」、「ローラー滑り台」など公園の魅力の認知度を向上させた。公園の見所を効果的に発信したことで、公園の認知度が向上し前年度より来園者数が約75,000人増加した。	A
27	東伏見公園	B	・六仙公園では「防災キャラバンin六仙公園」の実施に向けた関係者による「防災協議会」の実施、地場作物である柳久保小麦の普及啓発兼まちづくりイベント「麦の収穫祭～東久留米まつり～」の実施検討など、産官学民の多様な団体と活動・意見交換の場を設け、連携を深めた。「ノルディックウォーキング教室」など多世代に向けたヘルシープログラムの実施に際し、管理所の新設により広報活動を強化することで、参加者の増加を図り、健康増進・スポーツの普及に寄与した。	B
28	六仙公園	B		B

グループ名	多摩部の公園グループ
指定管理者名	多摩部の公園パートナーズ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
29	陵南公園	A	・グループ全体としては、武蔵野の公園グループ、狭山丘陵グループで統一したデザインの多言語、カラーユニバーサルデザインを考慮したサイン看板の設置をした。また野鳥観察へのマナーアップウィークのデザイナー新・のぼり旗配置の変更の実施により、利用マナーの向上に貢献した。また各公園の環境を利用したウェルネスやスポーツのイベントの提供は評価でき、それらは継続的な実施が望まれる内容であるため、利用者の企画運営への参加などの体制をつくることや実施頻度をあげることを期待する。 ・陵南公園では多世代型ヘルシーパークとしての更なる発展に向け、親子向けからシニアまで多世代が楽しめるプログラムを幅広く実施し、地域住民にスポーツの楽しさと健康増進の機会を提供し、健康とスポーツの拠点としてヘルシーパーク事業を大きく推進した。地域の環境保全団体と協力をして、「親子南浅川生物調査イベント」を初めて開催し、多くの水生生物を採集し、在来種が住みやすい環境であることを確認できたことを評価。	A
30	小宮公園	A	・小宮公園では「ナラ枯れと森の再生」をテーマに雑木林マイスター講座を開講し、ナラ枯れ後にどんな森を作るかをテーマとしたワークショップも実施。また新たに「雑木林グループ」のボランティアができ定期的な保全活動を開始したことを評価。「初夏＊カフェDay」を開催し、新緑の中、子供から大人まで心地よく過ごせる場を提供。見ごろの花や鳥の紹介、ガイドウォークによるカブトムシの幼虫探しなど時期ならではのプログラムを用意した点を評価。	A
31	滝山公園	B	・滝山公園ではスポーツに環境教育要素を加えた「たきやま忍者学校」を開催。忍者の術として体を動かし、滝山城跡の解説や公園の魅力を伝え、滝山公園に来園したことのない人々への認知度向上を行った。また「滝山城跡・自然と歴史を守る会」や八王子市観光協会と史跡の保護、活用を連携して行った。 ・大戸緑地では「大戸緑地春開きDAY」を実施し今回新たに相原冒険遊びの会に依頼し、大戸の竹を使った滑り台や樹木を利用したブランコなどの自然のプレーパークや、園内の緑の中で伸び伸び子どもが遊びながら運動を楽しめるプログラムも実施し施設の魅力向上につなげた。日本を代表とする植物写真家のいがりまさし氏を講師として招き、「大戸緑地 植生の履歴をひも解く」を実施し参加者に満足度の高いプログラムを提供した。	B
32	大戸緑地	B		B

グループ名	狭山丘陵グループ
指定管理者名	狭山丘陵パートナーズ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
33	狭山・境緑道	B	・グループ全体として、丘陵地という立地に基づいた樹木管理などの自然保護活動や自然環境を生かしたイベントを行った。これらの取組を行うことで子どもから高齢者まで公園に興味を向ける機会を多く作り、グループ全体の魅力向上につなげた。このような気軽に参加できる催しの実施は評価でき、今後は企画側でかかわってもらえるような、都民協働の公園運営を期待する。また狭山公園と東大和公園では、自然環境を活かした遊び場イベントを積極的に展開しているため、より頻度をあげて、日常的な体験の場に近づくような運営体制が生まれることやそれが他の公園にも波及することが期待される。	B
34	狭山公園	S	・狭山・境緑道では住民との協働による花壇づくりを行う「ガーデンパートナー制度」において、新たに作成した冊子に制度の概要と活動のルールを掲載し適切な利用を促進した。また、近隣住民から要望のあった階段の改修や馬の背のスロープの改善によりバリアフリー化が図られ、安全性と利便性の向上を図った。 ・狭山公園では親子で公園を楽しんでもらう大型イベント「さやまKIDSDAY」を開催し、狭山丘陵観光連携推進事業の一環として、狭山丘陵の6自治体、地域団体と連携し、パークレンジャーのキッズ向けガイドウォークなどを実施。イベント全体の参加者数は前年比1.3倍の1,280人が来場し狭山丘陵の魅力を発信した。多様なスポーツを体験する事ができる「スポーツチャレンジキャラバン」など公園の環境を活かした様々なプログラムを年間27回開催し参加者の健康増進に向けた取組を行った。また、パラリンピック正式種目の「ボッチャ」を体験できるブースを設置し障害者スポーツの普及啓発につなげた。他には専門家から評価を受ける等トイレ清掃の意識が高く、利用者アンケートの評価も高い水準となっており利用ニーズに応えた点等を高く評価。	S
35	八国山緑地	B	・八国山緑地では樹木医による西武線沿線沿いの危険木調査や倒木事故に関する原因調査を実施し、類似木の伐採、5か年計画の前倒し、鉄道沿線のセットバックが完了し、線路沿いの安全性の確保に努めた。また外来種のアメリカタザリガニの駆除への取組などにより、東京都レッドデータブックIB類に選定されているミズカマキリ等が確認されるようになるなど、池内の生物多様性の向上が図られた。	B
36	東大和公園	B	・東大和公園では公園ボランティアに向けて、安全に活動するための講習会を年3回実施。安全な伐倒の仕方や道具の使い方、夏の熱中症予防や危険生物の知識取得など、屋外で活動するための都民のスキルアップを図った。 ・野山北・六道山公園では、ナラ枯れ対策としてドローンやGISを使った被害状況の把握に努め、GIS上で記録・分析することで、今後の管理方針を検討するための基礎データとして活用し、維持管理に創意工夫が見られた。またナラ枯れの被害木伐採で大きく環境が変わった雑木林について、公園ボランティア、都民協働部、維持管理部、自然環境保全部と協働でガイドライン作成し、再生についての取り組みを進めた。田んぼイベントを実施し、職員、ボランティアが一体となりイベント当日の準備や片付け、参加者の田植え作業のサポートを行うなど円滑なイベント運営を行った。イベント参加者は昨年度より多い合計330人となり、参加者へのアンケートでは平均満足度90%以上と高い評価を得て、公園の魅力向上につなげた。また、公園ボランティア対象の安全管理講習を、季節に合わせたテーマで年間6回実施し、活動経験の有り無しを問わず、メンバーの知識・技術レベルをそろえることで安全性の向上を図った点等を高く評価。	B
37	野山北・六道山公園	S	・中藤公園ではパークモニタリングアプリの運用を継続し、スマートフォンを使用した画像・位置情報の共有により、事件事故や豪雨などの気象災害時の支障発生時の即時対応につなげた。また、情報のデータベース化により、苦情等への予防的措置や類似案件の一括発注など、効率的な維持管理につなげた。加えて、林床でリンドウ、オオバギボウシの開花やアカマツ実生が成長し結実するなどの成果が見られた。	S
38	中藤公園	B		B

グループ名	多摩丘陵グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
39	長沼公園	B	・グループ全体として、樹木点検アプリの導入により、GPSによる位置情報の共有や樹木医によるリアルタイムの確認等、樹木点検の効率化を図っている。 ・長沼公園では、丘陵地レンジャーや丘陵地ボランティア、大学教授の案内で行うガイドウォークの開催時期を拡大し、生物多様性保全の取組を普及啓発したほか、ドローンやGISを活用したナラ枯れ調査を実施し、立入が困難な急斜面や谷の状況について可視化することで業務効率を向上させた。	B
40	平山城址公園	B	・平山城址公園では、八王子市と連携した初のイベント「谷戸の自然環境といきものを学ぶクイズ&アクティビティ」において、平山城址公園の自然環境と宮嶽谷戸とのつながりについて解説するなど、外来種生物の捕食性と繁殖力が池の生態系へ与える影響や環境保全について地域一体で考える機会を創出し、地域価値向上に寄与したほか、丘陵地レンジャー体験として実施したため池整備作業では、保全作業や調査の意義を普及し、ヒメアカネの飛来やヤマアカガエルの産卵を確認するなどの成果も得た。	B
41	小山田緑地	B	・小山田緑地では、パークミーティングにおいて共通の地図を活用したホットラインを構築し、地理的に入り組んだ環境にある小山田緑地においても、地域で一体となった安全管理を行えるような環境を整備したほか、町田市内の緑地関係者が運営する「ずしまちいち」に参加し小山田緑地の魅力を広く発信するなど、地域価値の向上に寄与した。 ・小山内裏公園では、「さとやまブックファースト」イベントにおいて、複数の主体のプログラム提供により、公園の魅力向上を図ったほか、関係機関と連携し、冬期の公園行事として地域の歴史や昔話の読み聞かせ、サンクチュアリ内の瓦尾根瓦窯跡見学ツアーを初開催し、自然資源が豊富な小山内裏公園が持つ、歴史資源としての価値や遺跡に対する潜在的なニーズにアプローチした。	B
42	小山内裏公園	B	・桜ヶ丘公園では、開園40周年を祝う竹灯籠イベントにおいて、児童館等と連携したワークショップを実施したほか、近隣小学校での出前授業や近隣中学校との協働による桜保護活動を通して、地域連携強化に大きく貢献した。利用者と共創した「ベンチoneupプロジェクト」において、多摩丘陵グループの公園キャラクター「たまきょうりゅう」の絵柄をラッピングしたベンチを作り、新たな人気スポットを創出した。そのほか、スマートフォンアプリを活用した市民参加型調査「多摩市生きもの調査隊」は、今後、他の公園への波及効果が期待できる取組として評価。さらに多くの方の参加を広げつつ、継続的な生物モニタリング調査としてのノウハウを確立していくことを期待する。	B
43	桜ヶ丘公園	A		A

グループ名	大神山公園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
44	大神山公園	S	・大神山公園では、耐候性ネットとサンゴダストを活用したウミガメ迷走防止堤の改良を実施し、園内での産卵巣数が過去7年間で最高の265巣となるなど、希少種であるウミガメ保全に大きく貢献した。また、漂着したブイでランタンを作成するイベントを行うなど、海ごみの活用と普及啓発に努めており、マイクロプラスチック削減の運動に対して新たな団体の参加が広がり、地域ぐるみの取組となってきた。樹木点検アプリの導入により、GPSによる位置情報の共有や樹木医によるリアルタイムの確認等が可能となったほか、リモート樹木診断を引き続き実施することで、小笠原という離れた環境においても点検と診断のレベルを下げることなく、樹木管理の効率化を図った点等を高く評価。	S

グループ名	防災公園グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
45	東白鬚公園	A	・グループ全体の取組として、樹木点検アプリの導入により、GPSによる位置情報の共有や樹木医によるリアルタイムの確認等、樹木点検の効率化を図ったほか、関係団体等と連携して実施した防災事業において、被害を想定した実践的な訓練や親子で楽しめるプログラムの実施など、防災意識を高めるプログラムを多数展開し、地域の防災力向上に貢献した。周辺部の公園において、公園活用への地域ニーズやアイデアを引き出し、その企画を地域参加で実現していることも評価できる。今後は、テーマ性のある企画で、企業やアーティストなどの参加・協働の可能性を引き出し、都心部でも参加協働の取組が増えることを期待する。加えて、大規模救出救助活動拠点とされていることを踏まえ、発災時に必要な機能が発揮できるよう、東京都等の現地機動班と連携した運用訓練など、実践的な取組をさらに発展させていってほしい。	A
46	木場公園	A	・東白鬚公園では、ポッチャを楽しめるスペースを新設し、区とも今後のスポーツイベントへの協力体制を構築するなど、利用者の健康増進に向けた取組を積極的に行った。また、保育士向け防災施設見学会を初開催したほか、香港防災番組制作に協力し、東白鬚公園の避難場所としての役割や日本の防災対策、日本滞在中の災害対処法を学ぶ機会を提供するなど、防災に関する普及啓発を推進した点を評価。	A
47	砧公園	A	・木場公園では、木場ミドリアム内に期間限定でストリートピアノを設置し、音楽体験教室やピアノライブのイベントを実施するなど、施設の魅力向上に寄与したほか、「KIBA FESTA 2024」の開催にあたり、プロモーションビデオの制作や参加団体及びコンテンツの増などアップデートを図ることで、イベント参加者は前年比1.4倍の延べ13,482人となり、地域の魅力を広く発信した点も評価。	A
48	駒沢オリンピック公園	B	・砧公園では、「みんなのひろば」に車椅子でも植付け作業ができるレイズドベッドを新設し、インクルーシブな花育イベントを実施することで、遊具広場の利用促進につなげた。また、大規模インクルーシブイベント「スペシャルデー」では、新規7団体を含む15団体の出展や、遊具広場へのプレイワーカー配置により、インクルーシブマインドの普及啓発に努めた点を評価。	B
49	代々木公園	S	・駒沢オリンピック公園では、東京都スポーツ文化事業団等と連携し、防災フェスタを初めて開催した。防災トイレの紹介や、マンホールトイレの組立体験、協賛作成の防災すごろくの活用等により、防災公園としての認知度向上及び防災意識向上に貢献した。	S
50	善福寺川緑地	B	・代々木公園では、誰でも参加できるダブルダッチ体験イベントを通じて、ストリートスポーツの楽しさや公園利用マナーの普及啓発に寄与したほか、ボランティア活動をしたい企業や近隣中学校との協働によるベンチ板塗り替え作業を通じて、ニーズの掘り起こしと都民参加の促進による施設の活性化を図った。また、区や消防署、警察署と連携し、風水害を想定した実践的な訓練を行うことで、関係機関との連携強化及び防災力向上に貢献した点等を高く評価。	B
51	和田堀公園	A	・善福寺川緑地では、ネコのエサやりに関する課題に対し、動物行政及び地域の愛好家に呼びかけて団体を設立し、公園の管理運営に幅広い意見を反映する仕組みを構築したほか、桜を被圧する樹木の剪定にあたり、樹木医、公園利用者、有識者らと合同現場確認を行うなど、都民参加の促進による施設の活性化を図った。	A
52	汐入公園	A	・和田堀公園では、継続したコウホネ再生プロジェクトにより、埋土種子で復活したコウホネを植え直し、花を咲かせるまでに回復させるなど、良好な景観の創出と希少種の保全を着実に実施したほか、近隣の障害者自立支援施設で行った地域連携防災訓練では、防災公園の役割や防災関連施設の紹介、施設での避難訓練を通して、地域連携力・地域防災力の底上げを図った。また、開園60周年を記念して開催した自然観察会では、子どもが生き物に興味を持つきっかけをつくるなど、公園の魅力向上に寄与した点を評価。	A
53	城北中央公園	A	・汐入公園では、地元町会と連携し初開催した「汐入さくら祭り」において、桜の鑑賞と体験プログラムで地域に賑わいを生み、世代間交流の場を創出するなど、公園の魅力向上に尽力したほか、小学校3年生向けに防災関連施設や発災時の対応を解説する、新規事業「防災スクール」を実施するなど、防災意識向上に貢献した点を評価。	A
54	光が丘公園	A	・城北中央公園では、練馬区の子育て支援団体に声掛けをし、調節池工事現場見学会や特別連絡協議会へ招待することで、イベントや日々の活動に参加したいというニーズの発掘、活動の場の提供に寄与したほか、東京都・板橋区合同の総合防災訓練が中止になった際も、代替として公園を舞台にした地域連携の防災フェスタを初開催し、防災に関する普及啓発に努めた点を評価。	A
			・光が丘公園では、公園フェスタにおいて、子ども用ユニフォームの作成や丸太切り等、公園業務を身近に感じてもらうコンテンツを提供し、同日開催のJA東京おおばのイベントとの連携も図ることで、昨年の16倍となる6.3万人の参加があるなど、公園の魅力向上に寄与したほか、スポーツ施設利用窓口に暑さ対策としてタープを設置するなど、利用者目線での改善を図った。日常的に公園で活動する団体との連携協力で、多様な企画を持ち寄った公園フェスタや遊びの体験イベントを実施した点も評価。	A

グループ名	防災公園グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
55	舎人公園	S	・舎人公園では、「子供向けスポーツ体験事業」において、キッズプログラムに注力する企業と連携し、イベントの質を向上させることで、遠方からの参加や新規利用者の開拓につなげ、健康増進に向けた取組を進めたほか、ふれあいフェスティバルでは、舎人ライナーの乗車券提示で景品を進呈するコラボキャンペーンを実施し、駐車場混雑緩和と利用促進に貢献した。関係各所と連携した、大地震時の路線バスと幼稚園バスの立ち往生を想定した訓練では、効率的な救出活動と役割分担を明確にし、備えを強化したほか、近隣高等学校の避難所運営訓練に初参加し、関係機関との連携を深めるなど、防災力向上に寄与した点等を高く評価。	S
56	水元公園	A	・水元公園では、パークミーティングでの要望を受けて、11町会合同での防災訓練を開催し、地域連携を強化した。また、「ふれあいフェスティバル」において、ボランティアや近隣団体と連携し、花や動物の魅力を伝えるワークショップ等、多彩なプログラムを実施したほか、会場の花菖蒲ステージへの変更や新規出展など、恒例のイベントでありながらアップデートを図り、賑わい創出と地域活性化につなげた点を評価。	A
57	篠崎公園	A	・篠崎公園では、押し花を使ったレジン工作やクリスマスリース工作、ドングリを活用した工作など、魅力的なワークショップを多数開催し、公園の魅力及び環境への関心を高めることに寄与した。また、防災フェスタの開催や消防フェスタへの協力、さらに周辺小学校や自治会の防災訓練を通じて、消防との協力関係を構築し、防火・防災活動を推進してきたことについて、防火防災広報推進功労として感謝状が贈呈されたことも評価。	A
58	葛西臨海公園	S	・葛西臨海公園では、「ヒクイナ(絶滅危惧種)」の生態調査において、大学などと合同で、AI技術を活用した個体識別の迅速化を図ったほか、「鳥類園開園30周年イベント」を開催し、希少種保全の重要性を普及した。また、アーティスト、障害者支援施設、地元商店街との協働により実施した「アートマルシェ」や「野外シネマ」は、公園を核とした新たなコミュニティ形成、地域活性化にも貢献する企画である。加えて、地元町会や園内事業者との合同訓練や障害者支援施設等と連携した防災訓練、水上バスと連携した物資輸送訓練・帰宅困難者輸送訓練等、地域の特性に応じた訓練を行い、地域一体となった防災力の向上に寄与した点等を高く評価。	S
59	武蔵野中央公園	B	・武蔵野中央公園では、水防・防災フェスタにおいて、水害時の被害を想定した水防訓練や職員が考案したかまどベンチを使用した防災炊飯の体験会等、新たな取組を行い、防災知識の向上を図ったほか、消防署と連携し初開催した「防災Dayキャンプ」では、家でできる簡易トイレ作り体験等を行い、普及啓発を推進した。また「ガーデニングショー」は、公園の特性に即したテーマであり、地域の花にかかわる団体や事業者の協力を引き出し、地域住民等が主体的に関わることでできる取組となっている。	B
60	府中の森公園	A	・府中の森公園では、利用者のニーズをとらえたラクビー・ゴールポストの組立手順動画とマニュアルを作成し、広く情報提供を行うことで、安全安心な施設利用につなげたほか、理学療法士など専門職のサポートスタッフと連携して開催した、誰でも参加できる遊具体験会では、インクルーシブフードの弁当を提供し、遊ぶだけでなく情報交換の場を創出するなど、社会包摂を意識したプログラムを展開した。また、過去最大の連携規模で実施した防災フェスタやスポーツ競技形式で体を動かしながら体感する防災プログラム、要配慮者用の休憩スペースを完備した防災訓練等を実施し、防災意識の向上に寄与した点を評価。	A
61	武蔵野の森公園	B	・武蔵野の森公園では、新規整備した「絵本と歌の庭」において、子ども達による苗植え体験や親子館と連動したイベントを行い、施設の魅力向上につながる活動を展開したほか、天体ファンから天体観測好適地として知られる芝生広場で、国立天文台との連携により天体観測会を初開催し、新しいニーズの掘り起こしを行った。また、「絵本と歌の庭」「蝶のガーデン」づくりは、継続的に都民が関わることができ、連携や人材育成の広がる可能性があることから、効果が高い取組である。	B
62	小金井公園	A	・小金井公園では、新たに発足したSL清掃活動ボランティアに対し、組織づくりや活動マナー、会議の進行等をサポートし、清掃活動やイベントの企画立案や開催に向けた協働を行うなど、ボランティアの育成を図った。また、SL展示場の開場50周年イベントでは、本物のような発煙の演出や地元駅のブース、地元事業者のワークショップなど様々なコンテンツを提供したほか、鉄道の日に、通常は入れない客車の特別公開や記念ヘッドマークの掲出を行い、SL展示場の魅力開拓に寄与した。加えて、パークミーティングでの意見を踏まえ、青空コンサートや学生が子どもたちにスポーツの楽しさを伝えるイベント、地域団体と協力した子育て支援等を積極的に実施し、公園と地域との交流・連携強化につなげたことも評価。	A
63	東村山中央公園	A	・東村山中央公園では、アニメの聖地としてのニーズに対応するため、公園内のアニメスポットを巡るマップを新規に制作して配布し、公園の魅力を高めた。また、パークミーティングでの意見を反映し、介護と防災を組み合わせたプログラムを実施したほか、地域参加による開放広場での新たな体験の開発など、コミュニティ参加により実現できることを着実に広げている点を評価。	A
64	東大和南公園	B	・東大和南公園では、「4公園を巡る歴史ガイドツアー」において、公園に残る戦争遺跡の解説や、オリジナルテキストの作成等、ガイドツアーの企画を主導し、世界情勢の変化の中で、戦争遺跡を生かした体験教育プログラムをボランティアとの協働で進め、平和な社会を実現するための取組を推進した。また、初開催の「ペット防災」では、ペットを同伴した訓練を行い、避難時の心得や具体的な対応策を体験することで防災意識の向上を促した。	B
65	秋留台公園	B	・秋留台公園では、公園を利活用し地域一丸となった防災への取組を継続実施したことが評価され、「東京消防庁防災部長表彰」を受賞したほか、「ローズフェスタ」実施前にSNSのインサイト分析を行い、HPの強化を行うなど、広報強化により公園の賑わいを向上させた。	B

グループ名	文化財庭園グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
66	浜離宮恩賜庭園	S	・グループ全体の取組として、「夏のいい庭キャンペーン！」でのノベルティ配布や9庭園それぞれのオリジナルスタンプ作成等により、都立庭園を周遊するきっかけを創出したほか、各庭園の見頃の時期にドローン撮影した広報動画を作成し、Instagramや旅行博でPRすることで、グループ全体の魅力を向上させた。世界に誇る文化遺産である日本庭園の本来の姿や伝承技術の継承に向けた取組に加え、夜間開園やライトアップ、四季折々の演出等を通じた新たな観賞スタイルの提案、来園者の関心を引くディスプレイなど、歴史資産を生かした創意工夫は高く評価できる。加えて、樹木点検アプリの導入により、GPSによる位置情報の共有や樹木医によるリアルタイムの確認等、樹木点検の効率化を図ったほか、庭園の作庭意図及び歴史的背景等を踏まえた景観の保全回復、修復等を進めている点も評価できる。	S
67	旧芝離宮恩賜庭園	S	・浜離宮恩賜庭園では、「中島の御茶屋」について、高い撥水性、耐候性、耐紫外線性能のある塗料を外部塗装に用いた補修を行うことで長期的に木部を保護する仕様とし、美観維持向上に繋がったほか、夜間イベントでは、大名庭園ならではの庭園文化を知ってもらうため、コンテンツを充実させ、庭園の魅力を向上させた。外国人利用者へアンケートを行い、日本庭園への嗜好や情報ソースを把握するなど、利用ニーズの積極的把握に努め、インバウンドを含む観光資源としての庭園の見せ方を意識し、魅力を発信した点等を高く評価。	S
68	小石川後樂園	S	・旧芝離宮恩賜庭園では、開園100周年をテーマとした夜間開園イベントにおいて、暖色の灯りを中心とした演出や来園者参加型のコンテンツ等を展開したほか、旧芝離宮の歴史や見どころを紹介したパネルの巡回展示により、来園者の誘致を行い、一年間で前年度比約1.2倍の約15万人が来場した。また、海水取入口修景や馬場跡補修等、作庭意図を尊重した補修工事を行い、文化財としての景観構成を総合的に実施したほか、外周樹木について、泉水とそれらを取り巻く大山やマツ植栽群の借景となるよう修景し、景観の向上を図った点等を高く評価。	S
69	六義園	A	・小石川後樂園では、隣接する東京ドームとともにインバウンド向けの「日本庭園・文化プレミアム体験ツアー」を新規開発したほか、東京ドームのビジョンを活用して小石川後樂園を含むエリア全体の紹介動画を放映するなど、地域の魅力向上に寄与した。また、伝統ある「蛇籠」の伝承のため、9庭園の技能職員を対象に、「蛇籠」製作の技術や、景観本来の意図を表現するための設置方法等を学ぶ研修を実施するなど、文化財継承及び次世代の人材育成に尽力した点等を高く評価。	A
70	旧岩崎邸庭園	A	・六義園では、八十八境「尋芳径」周辺一帯の「吉野山」の作庭意図の回復のため、伐採撤去と補植をバランス良く実施し、樹林地景観の構成を実現した。また、夜間特別観賞において、水香江プロジェクションを往時を想起させる内容へブラッシュアップしたほか、ニーズを踏まえ、しだれ桜の見頃に開催期間を設定するなど、園内施設の魅力を最大限に発現させる工夫を図った点を評価。	A
71	向島百花園	A	・旧岩崎邸庭園では、園内貸出用車いすの利用可能ルートや階段スロープの設置状況、敷地内の急傾斜・段差等の注意ポイント等をまとめた案内資料をHPにて公開したほか、タイヤが埋まりやすい段差への緩衝マット用意等、ソフト面とハード面でバリアフリーを推進した。また、利用者ニーズに応え、非公開であった洋館2階の控室を整備し新規公開するなど、文化財の新たな魅力を発信した点を評価。	A
72	清澄庭園	A	・向島百花園では、伝統行事「虫さきの会」において、外国人向け体験ツアーを初開催し、園内の竹の間伐材を使った竹行灯を設置したほか、江戸風鈴を設置して涼を演出し、和傘によるフォトスポットを設けるなど、季節の演出をバージョンアップさせ、庭園の魅力向上に寄与した。また、古典菊の栽培方法の改良により、昨年度比3倍にあたる90%の挿し穂定着率を達成し、「菊が彩る江戸花屋敷」において展示場所増設や配置の工夫を行うなど、江戸時代から継承する当施設の魅力発信に努めた点も評価。	A
73	旧古河庭園	A	・清澄庭園では、「枯滝」の管理手法を学ぶための庭園技能伝承研修を実施し、添景物管理による庭園景観の維持、また修景時の着眼点や方法について、作業を通じて丁寧に継承し、参加した研修生の管理技術や技能習得に寄与したほか、江戸東京博物館との共催で「えどはくカルチャー」を新規実施し、学術的興味関心からの来園誘致を図った点を評価。	A
74	殿ヶ谷戸庭園	B	・旧古河庭園では、「馬車道」沿いのスタジイ大径古木群の骨格整姿剪定や洋館入口付近のソメイヨシノの更新等により、「洋館」への往時のアプローチを彷彿とさせる景観の回復に寄与したほか、作庭当初からの石造建造物「書庫」への解説板の設置により文化財の利活用を向上させた。北区主催のガイドツアーに参画し、北区の重要な歴史スポットとして魅力を発信するなど、地域連携に大きく貢献した点も評価。	A
74	殿ヶ谷戸庭園	B	・殿ヶ谷戸庭園では、「別荘庭園の特等席」として作庭上重要なビュースポットからの景観をパネルや小冊子で紹介するとともに通常は立ち入りできない芝生地の一部開放等により新たな魅力を発信した。また、七夕イベントでは、JR国分寺駅や駅ビルに間伐材として切り出した竹を提供したほか、近隣施設や保育園と共に、七夕の飾り付けを行うなど、地域一体となったイベントを開催し、地域価値の向上に寄与した。	B

グループ名	神代植物公園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
75	神代植物公園	A	・神代植物公園では、新たな試みとして「パークピアノ」、「あじさいウィーク」、「パンパスウィーク」等を開催したほか、園の見どころであるサガリバナ・オオオニバスの見ごろにあわせて、夜間公開の期間を拡大し、バラ園前噴水にて「バブルミネーション」を行うなど、利用者拡大と魅力向上に寄与した。インスタグラムを開設し、職員によるライブ配信で旬の花や植物の魅力を発信したほか、パナマソウの開花時に、オリジナルメニューをグリーンサロンと提携開発するなど、神代植物公園の魅力を積極的に発信したことも評価。	A

グループ名	夢の島公園・夢の島熱帯植物館
指定管理者名	アメニス夢の島グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
76	夢の島公園	A	・夢の島公園では、わくわくおさんぽアートフェスにおいて、園内に作品を展示したほか、作品を提供したアーティストのワークショップを9つ実施し、アートフェスの内容の拡充を図った。アーティストボランティアとして近隣の高校の生徒によるアート作品展示とワークショップも併せて実施した。スポーツの日記念イベントとして、ブラインドサッカー体験を開催しパラスポーツの楽しさを広めたほか、全日本代表コーチによる指導でパリオリンピック大会の話聞く機会となった等、理解を広げるきっかけを作った点を評価。	A
77	夢の島熱帯植物館	A	・夢の島熱帯植物館ではイースター、ハロウィン等、季節ごとの展示のほか、パナマフェア、ハーブ展等を開催し来館者に植物の魅力を伝えた。また、施設内の展示やコーナーのしつらえなどのデザインセンスの向上や、SNS映えのする企画や植物の写真のSNSでの拡散、また夜間開園などの新たな企画を増やすことで来館者が1.3倍となった。施設や植物の魅力を十二分に引き出し、効果的に活用、発信したことを評価。	A

グループ名	潮風公園・台場公園
指定管理者名	東京臨海副都心グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
78	潮風公園	B	・グループ全体としてハードに関する報告内容が多く、イベントやプログラムなどのソフトな取組を検討し、都民に興味を持ってもらう取り組みの実施に期待。例えば、海辺の公園である強みを生かし、小笠原に関する情報や熱帯に関する情報など、施設管理者の違いはあるが、相互協力により、都民に関心を持ってもらう工夫を期待。 ・潮風公園では「エクサパーク」等の健康増進につながる複数のイベントを開催した。エクサパークは令和5年度に引き続き2回目の開催であったが、規模を拡大し令和5年度の参加人数35名から206名と大きく参加人数を増やした。また、指定管理者独自の避難誘導訓練を、一体管理を行っているお台場海浜公園外海上公園と連携して実施し、発災時に効率的で迅速な対応が行える体制を整えた。	B
79	台場公園	B	・台場公園ではスマートフォンを使用して、園内の見所7か所で施設解説も閲覧できるデジタルスタンプラリーの実施や、AR技術を用いて画面上で公園内の砲台跡に大砲を再現できる取組など、デジタル技術を活用して来園者の体験価値を高めた。また、都が推進する「Digital Innovation City」の取組の1つである台場公園でのドローンショー実施のため、ドローンの離発着・飛行場所としての利用調整や、来園者の安全確保など円滑なイベント実施に貢献した。	B

グループ名	横網町公園
指定管理者名	公益財団法人東京都慰霊協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
80	横網町公園	A	・横網町公園では東京大空襲80年の行事として、東京都慰霊堂内で地元の両国中学校の生徒が吹奏楽の演奏や合唱、朗読、演劇を実施し、地域と共同しながら平和への願いに対する機運を高めたほか、園内での集会占用に係る申請者への対応では一次的な窓口になるとともに、都や本所警察署など関係機関と連携しながら公園内の安全な環境整理に向けて協力した点を評価。	A

グループ名	東京臨海広域防災公園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
81	東京臨海広域防災公園	B	・東京臨海広域防災公園では、民間企業・行政・関連団体との連携による防災普及啓発活動を複数展開したことに加え、防災を身近に楽しく学べる公園をPRするために、公園ホームページ、SNSのほか、江東区報への掲載、新聞折込での告知、webによる参加申込受付など広報強化を図り、参加者獲得に繋げた。	B

グループ名	明治公園
指定管理者名	Tokyo Legacy Parks 株式会社

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
82	明治公園	A	・明治公園では明治公園の楽しみ方を知ってもらうきっかけとして「SKY PICNIC」というイベントを開催し、ワイヤレスヘッドホンによるDJ音楽体験など公園で行われるイベントの新しい在り方を示した点を評価。SNSでの発信力のあるコンテンツと連携したイベントの実施やイベント時のフォトスポットの設置を積極的に行い、公園管理者の発信だけではなく参加者自らが発信する形で公園事業のPRにもつながる取組をしていることを評価。	A

グループ名	代々木公園
指定管理者名	代々木公園S T A G E S

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
83	代々木公園	B	・代々木公園は、令和6年度においては開園後の調整業務を進めており、今後の公園管理運営における本格的な事業展開を期待する。また、アーバンスポーツパークを活用し、スケートボードを中心としたストリートスポーツの普及とマナー啓発の実施を期待する。	B

グループ名	日比谷公園大音楽堂
指定管理者名	東京南部パークスグループ

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
84	日比谷公園大音楽堂	A	・日比谷公園大音楽堂では、「日比谷野音オープンデー2024」において、開催時期を平日の夜間帯に変更することで、近隣企業・官庁に対し再整備事業や建替え後の協力を推進したほか、夜間開催に合わせたライトアップ演出やパネル展示、事前の積極的なPR活動により、計画値を上回る1,300人の来場者があり、野音の存在意義と魅力を広く発信した。また、「日比谷音楽祭2024」では、野音をメイン会場に、日比谷公園内施設や周辺施設、日比谷エリアマネジメント団体等、地域コミュニティとの連携を図りながら、日比谷エリアの更なる活性化と魅力向上に寄与した点を評価。	A

グループ名	都立動物園
指定管理者名	公益財団法人東京動物園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
85	恩賜上野動物園	A	・グループ全体として、4園連携した動物園の魅力向上として動物園・水族園のデザインの面白さや工夫を紹介する特設展「ようこそデザニャーレ-東京どうぶつえん すいぞくえんデザイン室-」を井の頭自然文化園で開催した。特設展では、これまでに制作したチラシやグッズを一堂に集めたダイナミックな壁面展示、デザインの過程を感覚的に理解してもらえるデザイナーデスクの再現など、視覚的にこだわった展示を行った結果、デザインに興味関心の強い新規層の開拓に繋がり、新たな切り口で動物園・水族園をアピールした。また誰もが使いやすい公園（動物園・水族園）づくりの一環として、障害等により動物園を訪れる機会が少ない子どもとご家族に楽しいひとときを過ごしてもらいイベントを開催した。加えて各園において、利用時間の延長や夜間開園等の利用者サービスの向上に積極的に取り組むことや各園共通して展示ディスプレイやグラフィックの工夫やデザイン力が高く、またその上に地域性にマッチしたデザインコンセプトの独自性が工夫され、各施設の魅力向上に大きく貢献した。	A
86	多摩動物公園	B	・恩賜上野動物園では「第2次都立動物園マスタープラン」に基づき策定した「飼育展示計画」の重点的取組として、関係機関と連携した野生のニホンライチョウからの精液採取と人工繁殖の日本初の成功、13年ぶりのコビトカバ繁殖成功といった顕著な成果を収めた。また、イギリスで開催されたMFG（マダガスカルファウナグループ）総会への職員の派遣とマダガスカルの保全に関する最新情報の収集、台湾で開催されたSEAZA（東南アジア動物園水族館協会）総会への職員の派遣と園の取組発表など、国際会議への積極的な参加や技術発表、調査研究を通して、飼育に関する技術の発展と継承に取り組んだ点を評価。	B
87	葛西臨海水族園	A	・多摩動物公園では左牙の内部組織が壊死し感染症等のリスクを抱えていたアフリカゾウについて、海外の専門家チーム等から技術的なレクチャーを受け日本初となる拔牙処置に成功し、参加した当協会及び国内の獣医師の麻酔技術向上に寄与したことを評価。また50年ぶりのインドサイの繁殖や、人工採精によるチンパンジー繁殖など、第2次ブースtock種と保全プロジェクト対象種 計13種の繁殖に成功した。 ・葛西臨海水族園では、地元の小学生を招いて新水族園整備事業に伴い閉鎖する「水辺の自然」エリアの生物回収イベントの実施や江戸川区の金魚まつりでのブース出展など、企画の実施や情報発信、PRを行うことで地域の活性化に貢献したことを評価する。令和4年度にオープンした「サンゴ礁の海」では、約2年間の展示を通じて得た課題を踏まえた水槽の設備改修や、複数海域由来であったサンゴ類のリセットと種子島からの約150群体の搬入により、将来的な飼育下個体群の生息地への再導入と水族園の更新に向けた取組を推進したことを評価。	A
88	井の頭自然文化園	B	・井の頭自然文化園では、三鷹国際交流フェスティバルや京王キラリナ吉祥寺開業10周年記念イベントなどにブース出展し、地域コミュニティとの連携による地域価値の向上に取り組んだ。また、3年連続となるニホンカモシカの繁殖など、第2次ブースtock種と保全プロジェクト対象種計11種の繁殖に成功し、希少種の保全に貢献した。	B

グループ名		東京都霊園		
指定管理者名		公益財団法人東京都公園協会		
No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
89	青山霊園	B	・グループ全体として、樹木点検アプリの導入により、GPSによる位置情報の共有や樹木医によるリアルタイムの確認等、樹木点検の効率化を図った。また、無縁墳墓の解消を進めるため、公用請求による使用者の存否調査を行った。 ・青山霊園では、港区赤坂総合支所と連携し、ゆるキャラ「アユミン」と一緒に、ポイ捨て禁止等のマナーアップキャンペーンを実施し、地域と連携したマナーアップの意識向上により、快適な墓参環境の維持向上に努めた点を評価。150周年記念事業として、港区観光協会に働きかけ、ボランティアガイドによる「著名人墓所ガイドツアー」を初めて実施した。ガイドによる案内で著名人墓所14箇所を紹介、青山霊園への関心を高め親近感の醸成に繋がった。	B
90	谷中霊園	B	・谷中霊園では「禅ガーデン」に着目し、枯山水をミニチュアサイズで制作したことや、藁ボッチの展示を行い、墓参者や通行する地域住民にとっても心と癒や空間を提供した。また来園者より視覚障害者向けの資料の有無を尋ねられたことを契機として、職員自らの発案で各種書籍等を参考に150周年記念事業の点字チラシを作成し、積極的に取り組んだ。	B
91	雑司ヶ谷霊園	A	・雑司ヶ谷霊園では、近隣保育園と消防との協働により、地域住民とともに避難誘導訓練、水消火器による消火訓練、AED訓練を実施した。AED訓練では訓練用幼児人形を導入した訓練を実施し、保育園職員に必要な実務的な訓練を行ったことで、地域の防災意識向上や対応能力を高めるとともに、地域連携も強化した点を評価。また、開園150周年記念事業として、崇祖堂のほか、東京音楽大学でも、雑司ヶ谷霊園に眠る著名な作曲家の楽曲を演奏するコンサートを実施し、地域の中にある開かれた霊園として、霊園の魅力発信と地域との連携強化を進めた。そのほか、豊島区や日本女子大学と連携した各種講座の実施など、普段霊園とは関わりのない方々に霊園に興味を持っていただく機会の創出や霊園の歴史や施設を活用したサービスに取り組んでいる点も評価。	A
92	染井霊園	B	・染井霊園では、近隣保育園と連携して、広場に一時避難している子供たちを保護者が引き取りに行く親子引き取り訓練を実施。災害発生を想定した霊園内広場までの案内図を事前に保育園に配布し、保護者の方々の防災力の向上に効果を発揮した。150周年に合わせて、駒込地域創造館と協働で歴史を振り返る記念事業を開催。所長による記念講座、「としま案内人駒込・巣鴨」による著名人墓所ツアーを開催し、霊園の歴史を生かした魅力を発信するとともに、地域との連携を深めた。	B
93	八柱霊園	A	・八柱霊園では「気軽に参加、がっつり防災」をテーマに、霊園管理事務所・近隣町会・小学校・松戸市避難所直轄職員で構成する地域防災会議と連携した地域連携避難訓練を初めて開催。地域防災力底上げのため、防災にあまり詳しくない地域住民をメインターゲットに設定し周知を行い、初開催で185人の住民が参加し地域の防災力を向上させた。また芝生火災防止のため、合同香炉3基設置に加え人感センサー付自動音声案内を設置し、芝生火災を大幅に減少させた（前年度比66.6%減）。生態系被害防止外来種に指定されている「アメリカオニアザミ」の集中駆除（5,109株）を実施し、墓参者・来園者が安心して利用できる環境を整えた点を評価。	A
94	八王子霊園	B	・八王子霊園では八王子消防団第八分団に協力要請し、初めて墓参者に向けた水消火器訓練を行い、防災意識の向上につなげ地域との連携を強化した。113人が参加し参加者には子供達も多く、幼少期の子供にも防災に触れ合う場を提供した。墓参バスについて、JR高尾駅、西東京バス80路線全ての車内に案内ポスターの掲示、SNSで情報発信を行ったことにより、利用者が前年度比約45%増となり墓参ニーズに応えた。 ・多磨霊園では樹林型合葬埋蔵施設献花式を開催し、多磨霊園管理事務所長による代表献花を動画配信することで、高齢者や遠方在住者など霊園に來れない方々にも哀悼の意を伝えた。また一次収蔵施設の新規運用ルール周知のための工夫やみたま堂更新者に対しフローチャートやチェックシートを導入し書類不備の改善や手続き漏れを防止した。	B
95	多磨霊園	B	・小平霊園では仮設管理所と新管理所への2度の移転作業を実施。移転に伴い、東京都等と計49回の定例会で適切な情報共有を行い、事務所改修が効率的かつ円滑に進むことに貢献した。また「みどりの日」に合わせ、樹林・樹木型合葬埋蔵施設献花式を開催。遠方の方や霊園に足を運ぶことが難しい方へ向け、代表献花の様子を公式YouTubeチャンネルにて動画配信し、リモート墓参を推進する等質の高いサービスの提供を行った。	B
96	小平霊園	B		B

グループ名	瑞江葬儀所
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
97	瑞江葬儀所	A	瑞江葬儀所では、お別れや収骨など葬儀社及び会葬者の対応を行う技術係職員を対象に、実際の業務で経験した事例を踏まえながら実践的な接遇研修を初めて実施するなどサービス向上に努めていることを評価。火葬炉の維持の抜本的な対策が限られるなかで、稼働率の低い所内同種設備との交換や日々の稼働状況や点検に基づく細やかな補修など、効果的な施設補修を行い、安定的な運営を行っている点を評価。	A